



こま え を こ ま げ る

こまつなNEWS

VOL.32
2019年11月
臨時発行号

発行：責任編集
狛江市岩戸北
3-18-8-701
狛江で分かりやすい
政治を伝える会
(三宅 まこと)



写真はすべて10/12～13に三宅が撮影。

台風被災、 現段階でのご報告をいたします。

この度の台風19号で被災された市民の皆様にご挨拶申し上げます。



当こまつなNEWSは「狛江で分かりやすい政治を伝える会」が発行しています。狛江市の見解ではないことをご理解ください。

写真は世田谷通り多摩水道橋付近、10月12日午後3時半の状況。この時点での水位は4.82メートル。この直後に氾濫危険水位を超え（下記、資料①より）、避難勧告が発令されました。

10月12日に首都圏を直撃した台風19号により狛江市内で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。10月18日現在、狛江市の被害集計では床上浸水92棟、床下浸水152棟となっています。これは、東京都が10月21日に発表した都内全区市町村集計においても、大田区、世田谷区に次ぐ大きな被災規模となりました。また、避難所への最大避難者数は3903人（下記資料②参照）に。こうした被害以外にも、市内での停電が4760世帯、建物の一部損壊、自動車の水没、家財道具や商品の廃棄等、様々な困難に直面された方を多くお見掛けし、心を痛めております。

市役所では「罹災（りさい）証明書等」の発行を随時受け付けています。これらは、今後の被災者生活再建支援や各種保険の申請等に必要な場合がありますので、**被災された方は狛江市役所にぜひ問合せ试着て下さい。**

私が今後重要だと考えることは台風19号で顕在化してきた課題が、今後同じように大規模な風水災害が起こった時に対応するため、どのような「改善」がされたかという視点です。そのためには発災時、直後に市民の皆様がご自身で感じられたであろう「ソフト対策」だけではなく、行政機関として取り組んでいくべき「ハード

対策」、これら両面で課題を洗い出す必要があります。前者は「洪水情報の提供」「浸水予想区域図の作成・公表」「洪水ハザードマップの作成・公表」「避難・水防体制の整備・確立」「広報・啓発」、後者は「河川の整備」「下水道の整備」「流域対策の推進」「河川・下水道の連携」となります。（狛江市地域防災計画・風水害編より）

このように課題は山積していますが「改善」は継続していかなくてはなりません。一方、行政だけではなく市民の皆様におかれましても、どうか日頃からの自助意識、防災の備えを今一度見つめ直すことで「改善」の視点を持っていただきたいと思います

さて、今回のこまつなNEWS（臨時発行）は台風被災・現時点でのご報告となります。被災を通じ、沢山の課題が顕在化していますが、紙幅の関係もあり、被災時「**浸水地区が発生した課題**」と、今後の「**抜本的な治水対策の考え方**」という二つに絞ります。こうした課題は市としてもしっかりと検証していく時間が必要となりますので、あくまでも、狛江市の見解ではなく、私（三宅）の問題意識としてご一読いただければ幸いです。

完全無所属の狛江市議会議員 三宅まこと

浸水地区が発生した課題に関して

今回、特に甚大な冠水被害を受けたのは、西和泉地区（西和泉1・2丁目、中和泉4丁目）、猪駒通り付近（駒井町1・3丁目、猪方2丁目）を中心とされた方々です。なぜ浸水地区が発生したのか？という専門的な見地も含めた検証は、狛江市も進めていくと思いますので、まずは私の考える問題意識をご説明いたします。

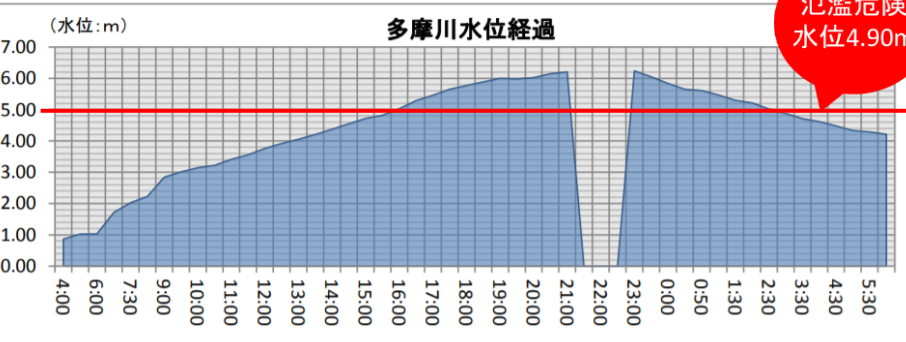
下記、石原観測所資料①で見ますと、12日15:30時点までは警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始発令）でした。その後、16:00に多摩川水位は5.03mを記録、氾濫危険水位4.90mを超えて警戒レベル4（避難勧告発令）に移行しました。一方で雨は30分当り15mm超と11:00過ぎから断続的に降り続き、ピークの14:00に30分当り25mmを記録。結果的には総降雨量543.8mm/日という完全な雨台風でした。



また、内水氾濫（大田区、世田谷区、川崎市）がキーワードとしてマスコミ報道を賑わしていますが、市でも二か所の水門（六郷、猪方排水樋管）があります。今回は市職員が現地に張り付き、その対応も防災計画通りに運用されていました。今後は、市として専門的な知見も交えた様々な検証が行われると思いますので、その結果を待ちたいと思います。

以上から、現時点での私の問題意識は、究明される原因と検証結果を踏まえた市洪水ハザードマップへ水門の明示等や、市民の日常的な備えのための土のう配備等の減災対応力向上を求めています。一方で市民の皆様には今回の体験を踏まえた自助の意識付けを、今まで以上に持っていただきたく存じます。

資料①: 多摩川の水位経過(10/12石原観測所)



※21:30～23:00は数値なし。観測所検針針故障による欠測。

今後の抜本的な治水対策は？

上述の「ハード対策」は狛江市だけでなく国や東京都との連携が必要です。基本的に多摩川（一級河川）は「国土交通省の管理で市は占有使用している」という構図のため、国と市が連携して復旧を進めていくことになります。台風通過後には、多摩川五本松・水道橋間の堤防内側で露出した箇所や、猛烈な水流量による影響を受けたであろう護岸崩落箇所も見つかっています。今後の備えに万全を期すために、国へ早急な対応を求めていく必要があります。

また、来年度以降には国の多摩川天端舗装事業も予定されており、同時に市は保水性舗装を施す予定です。堤防工事は決壊までの時間を稼ぐという効果もありますので、そうした側面も広く市民の皆様にご理解を求めていく必要があります。一方で多摩川へ流れ込む水量をコントロールする水門への装備品として、内水氾濫を減災する排水ポンプのレベルアップも考えられますが、財源措置も必要です。

以上、様々な課題の抽出段階ですが、取り急ぎご報告です。

資料②: 各避難所の避難状況

右写真は、二中避難所(武道室)の様子です。その時点(14:30)で避難されていた方は58人でした。その直後から避難所へ身を寄せる方々は急激に増え続け、最終的に二中全体での最大避難者数は1001人になりました。



段階	避難所	開設	校舎	閉鎖	最大避難者数	特記事項等
予備避難所として開設され、その後避難所へ移行	中央公民館	12日 8:40		13日 7:45	231人	2階:全室 1階:調査室 地下:ベット
	第四中学校	12日 11:00		13日 7:30	107人	
	第一中学校	12日 11:00	開放	13日 8:40	285人	車両避難所
	第二中学校	12日 11:30	順次 開放	13日 7:30	1001人	武道室、アリーナ多目的室、少人数教室
	市役所 本庁舎	12日 14:30		13日 7:30	463人	議会(議場、会議室等) 特別会議室、2階フロア
避難情報発令後に開設された避難所	緑野小学校	12日 15:30	12日 18:00	13日 7:30	697人	
	上和泉地域センター	12日 15:30		13日 7:30	70人	体育館、和室
	第三中学校	12日 16:30	12日 19:00	13日 7:30	319人	19:15上階に移動完了
	第三小学校	12日 17:08	12日 18:45	13日 7:30	243人	21:40上階に移動完了
	第六小学校	12日 17:27	12日 19:00	12日 12:15	423人	19:00上階に移動完了
	エコルマホール	12日 18:50		13日 7:30	58人	ホワイエ
	西河原公民館	12日 19:30		13日 8:15	6人	福祉避難所
	合計				3903人	